Please! Teacher VISUAL COLLECTION
Megami MAGAZINE SPECIAL SELECTION

Please! Teacher VISUAL COLLECTION

INDEX

PAGE 01 ▷ 19 Illustrations

PAGE 20 ▷ 25 Character
●風見みずほ●亭麗桂●緑川小石●水澄楓●森野尊●ほか

PAGE 26 ▷ 31 Story

PAGE 32 OP ED
●オープニング・エンディングテーマ

作画／須倉たっく　CGペインティング／秋谷泰也

【影指定】

【原画】

アリガチヒロインツーショットです。
アニメの色に合わせたら、
色が沈んでしまいました。ショックです。
トホホ[illegible]。(羽音たらく)

イラスト／羽音たらく

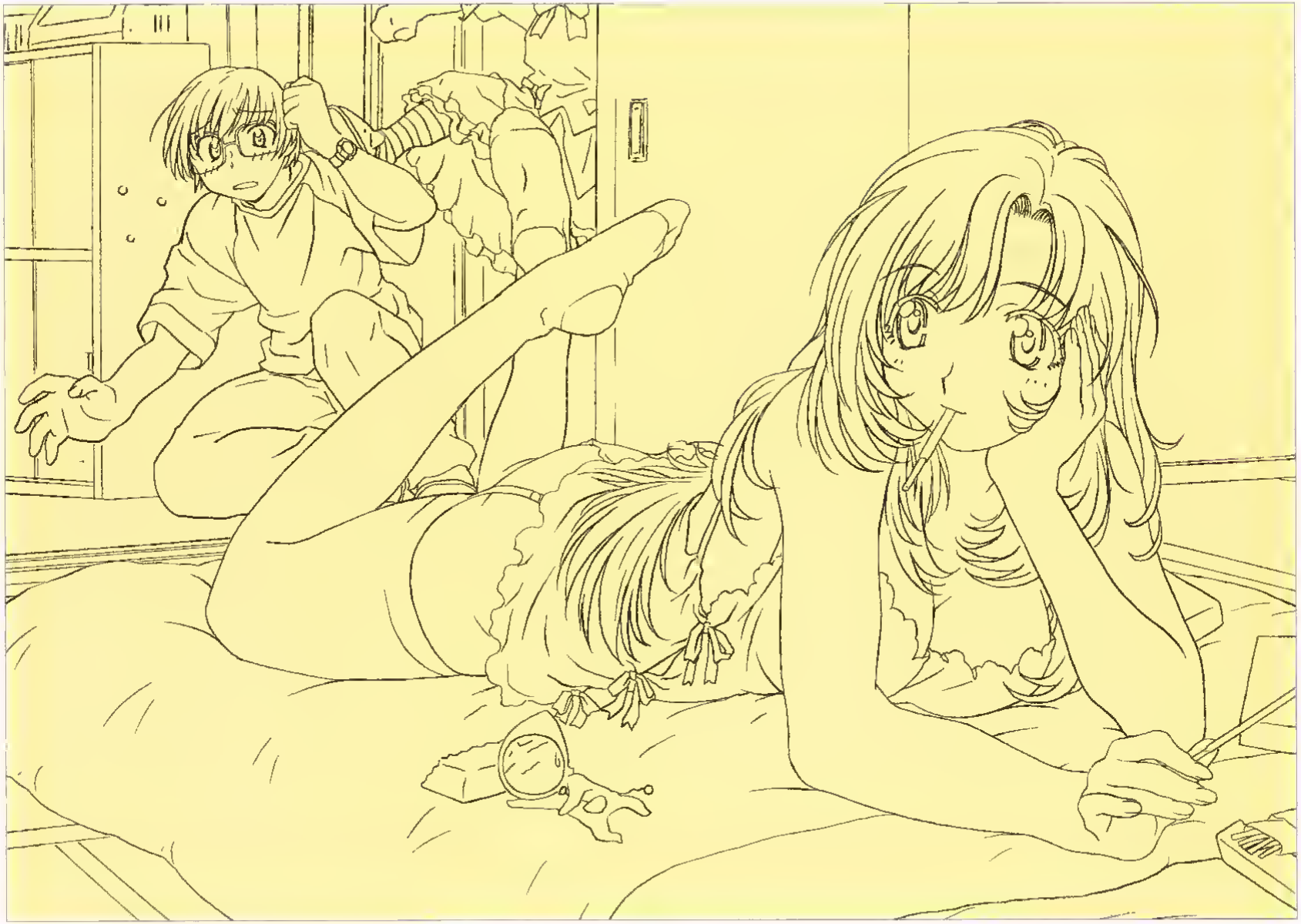
【原画】

大人だねぇ〜〜……。
みずほです。CG色彩キレーで好きです。
まんまCMYKしたら、
くすみました　ムカ☆（羽音たらく）

作画／羽音たらく　CGペインティング／森谷泰也

NIE

メガマガ用という事で
少しエッチにしたつもりです。（羽音たらく）



【原画】

作画／羽音たらく　CGペインティング／藤谷榮也

ENGEL

ピンナップでは一番気に入ってます
【自分で言うのも変たケド】。
何かみんなネコッポイです。（羽音たらく）

【影指定】

作画／羽音たらく　CGペインティング／萩谷季也

【影指定】

苺たんです。何かアヤしいです。
ペタンコ座りの振り向き少女。
趣味のポーズです。(羽音たらく)

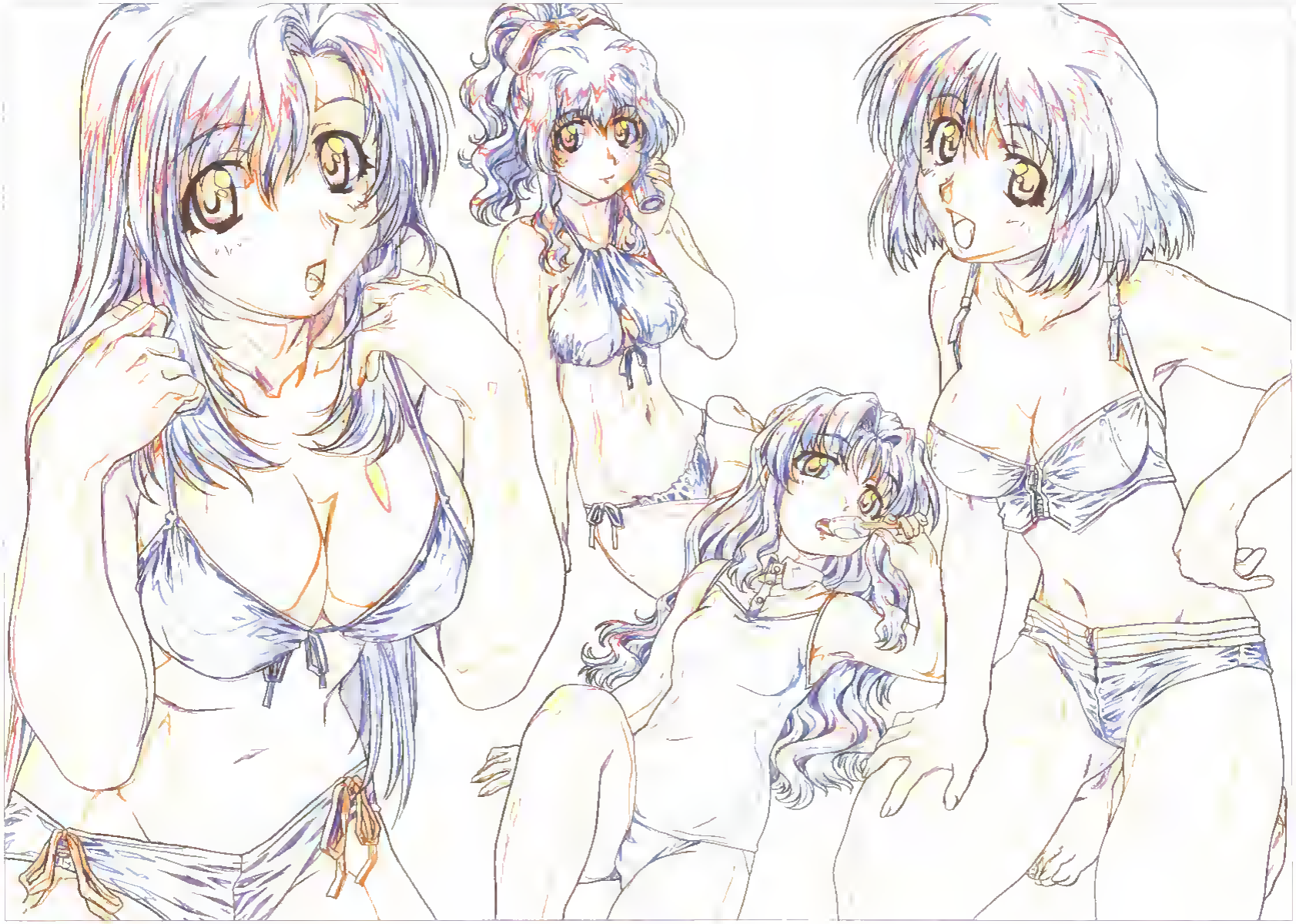
下両　羽音たらく　CGペインティング　鉄谷泰世

【影指定】

えーと～ 苺って
寝ころぶのが好きなのカナ・？
究極のジベタリア～ン。(羽音たらく)

作画／羽音たらく　CGペインティング／蔵谷書也

冬に水着のショットです。（Megamiマガジン掲載時は真冬でした）
ワケがわからないシチュエーションです。
黒田さんに「楓のチチがデカイ」と言われました。楓、きっとガンバッてます……。
（羽音たらく）



【影指定】

作画　羽音たらく　CGペインティング　萩谷泰也

【影指定】

何かもう、なつかしーです。
放映前の絵です。
私的にこの絵が一番好きです。
苺、目つぶしVサイン
・やっぱりアヤシイです。(羽書たらく)

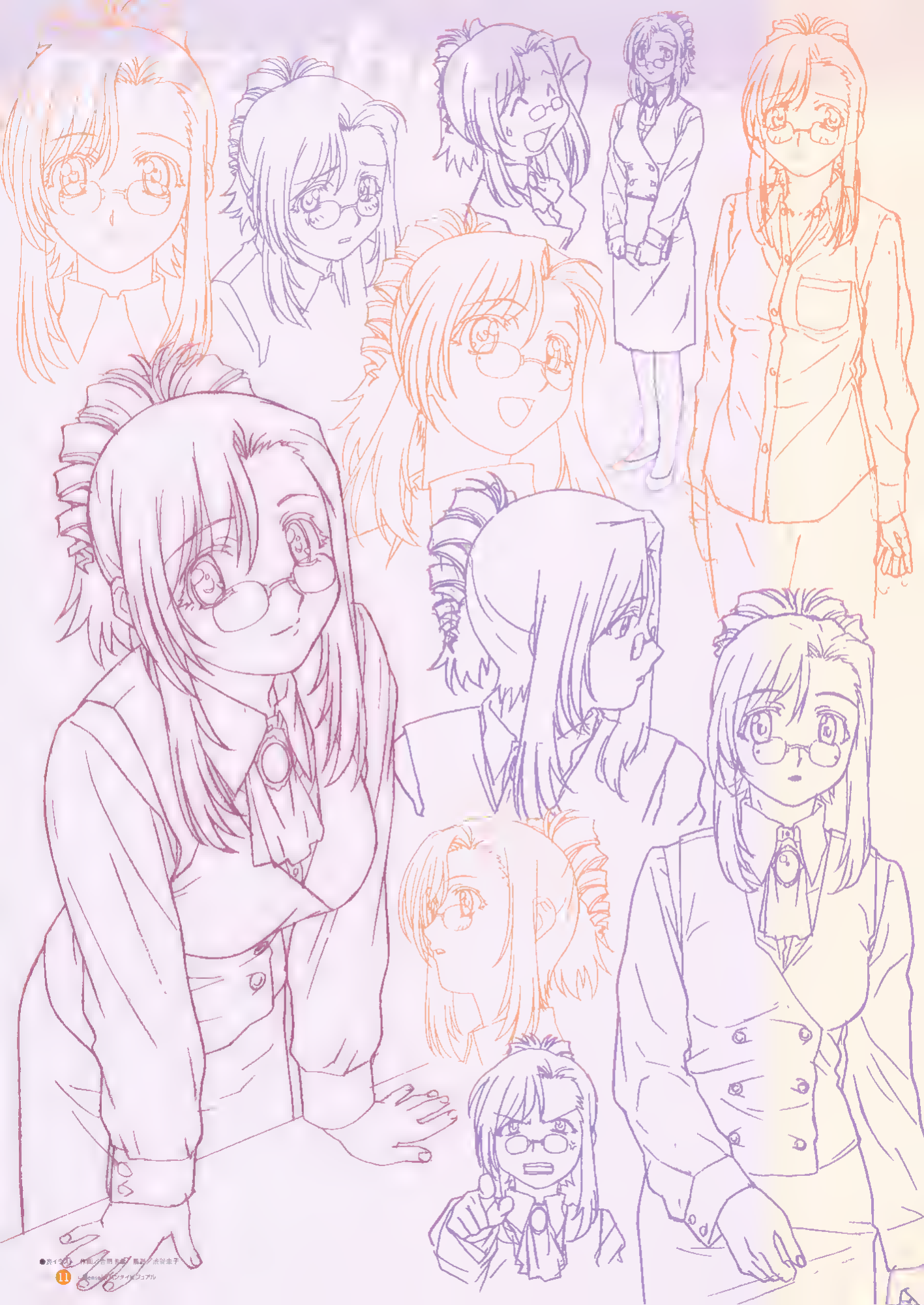
作画／羽書たらく　CGペインティング／萩谷泰也

Pochy
Pochy
Pochy
Pochy
Pochy
GIANT
Pochy
12本入

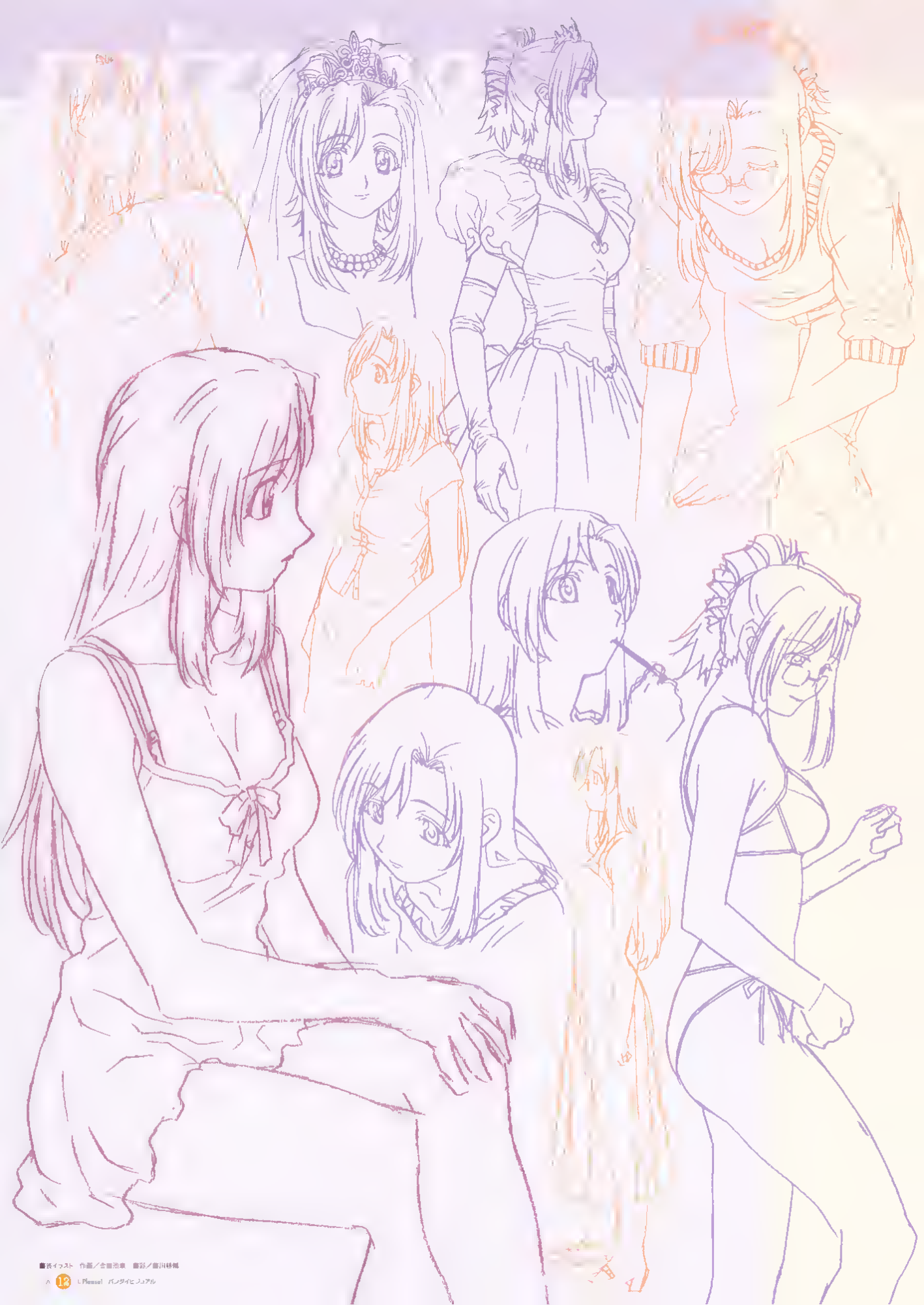
【影指定】

オルフェの人にスケベと言われました。(何が？)
下絵を修正しているうち絵がカタくなってしまいました。
絵のポッチーはベタベタ、
マッピングみたいな事してもらいました。(羽音たらく)

作画：羽音たらく　CGペインティング：長谷恵他

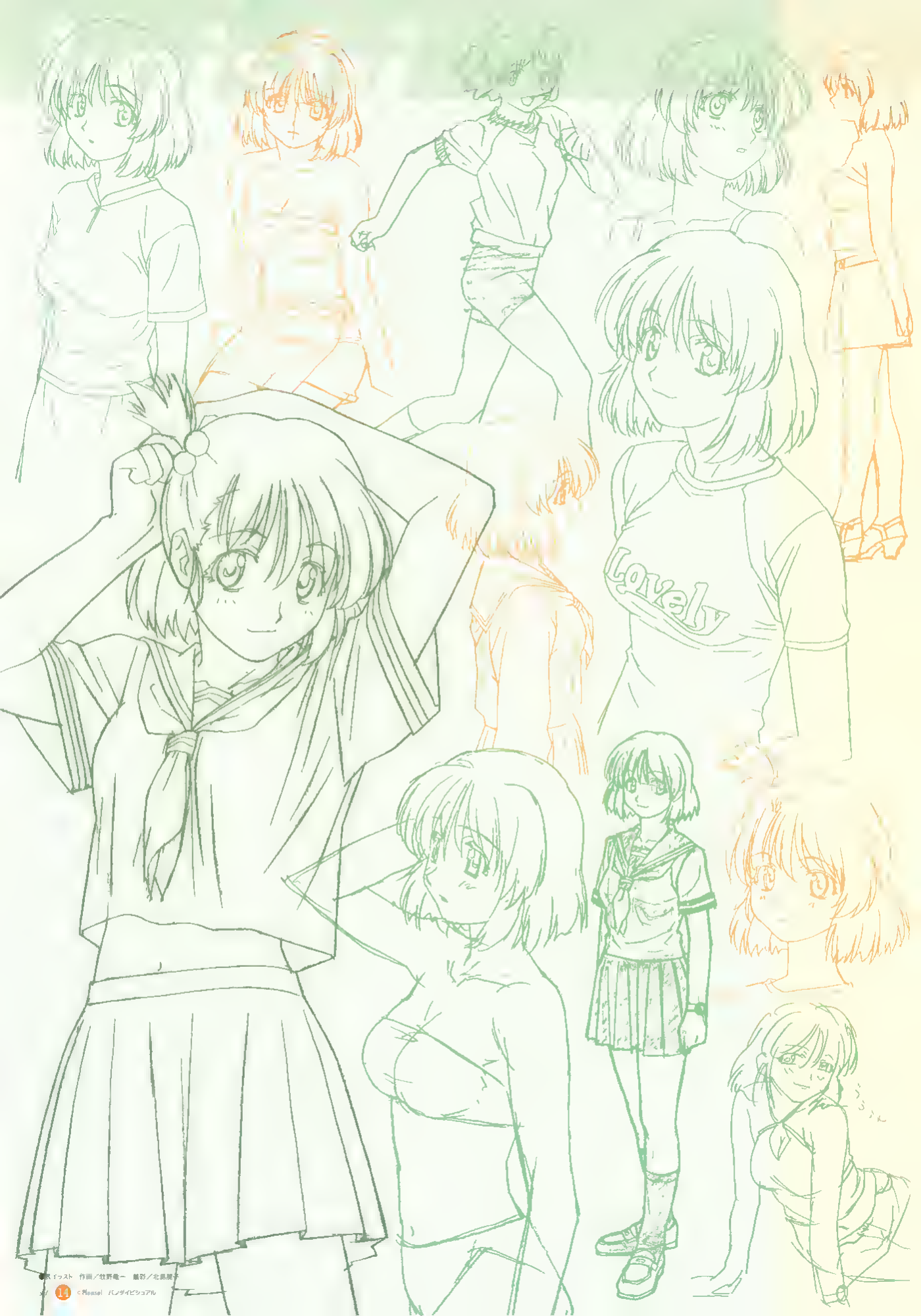


●表イラスト　作画／吉岡光雄　監修／渋谷圭子



■表イラスト　作画／金田浩章　書影／藤川林輔

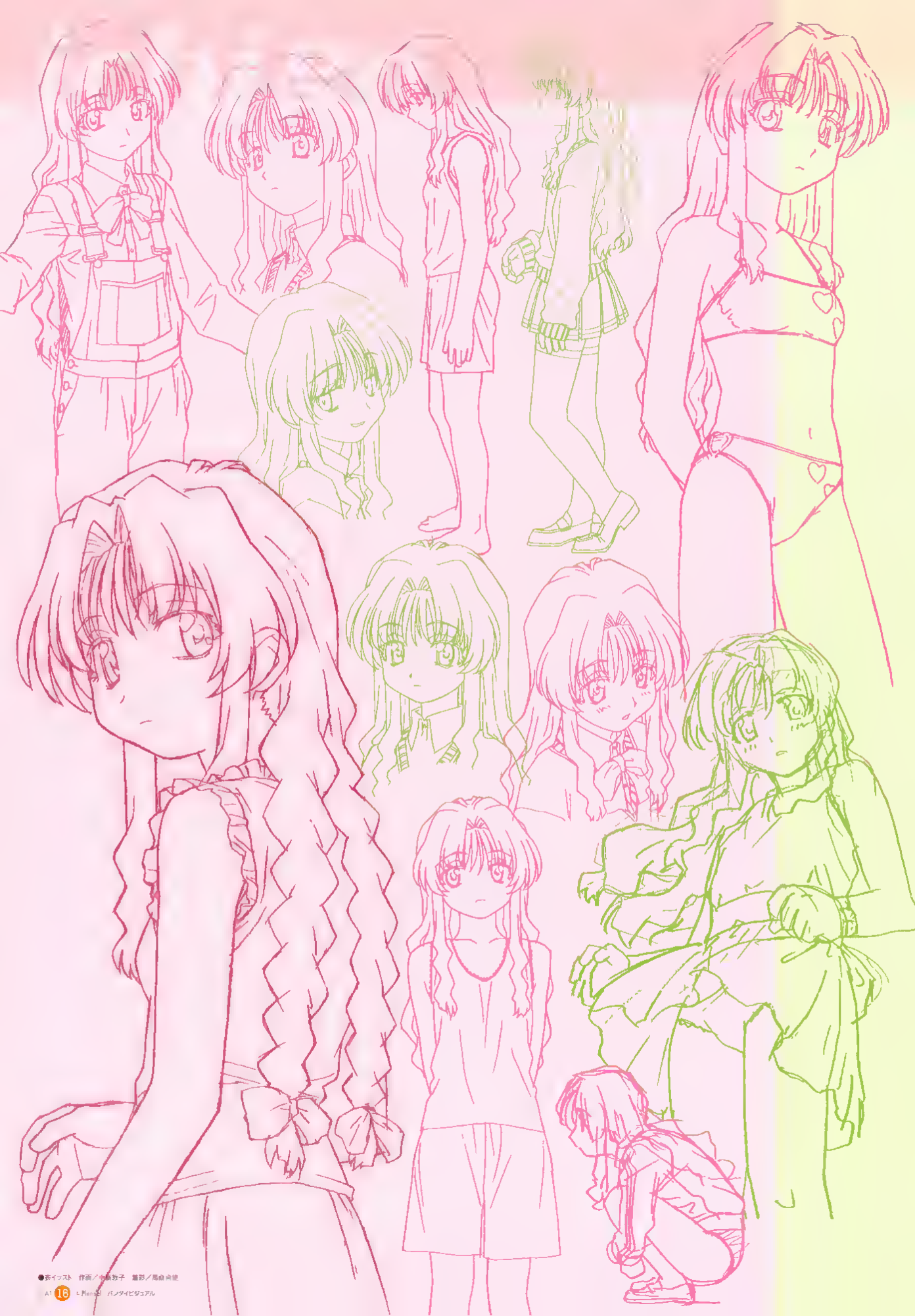
■表イラスト　作画／合田[illegible]　■彩／[illegible]川[illegible]



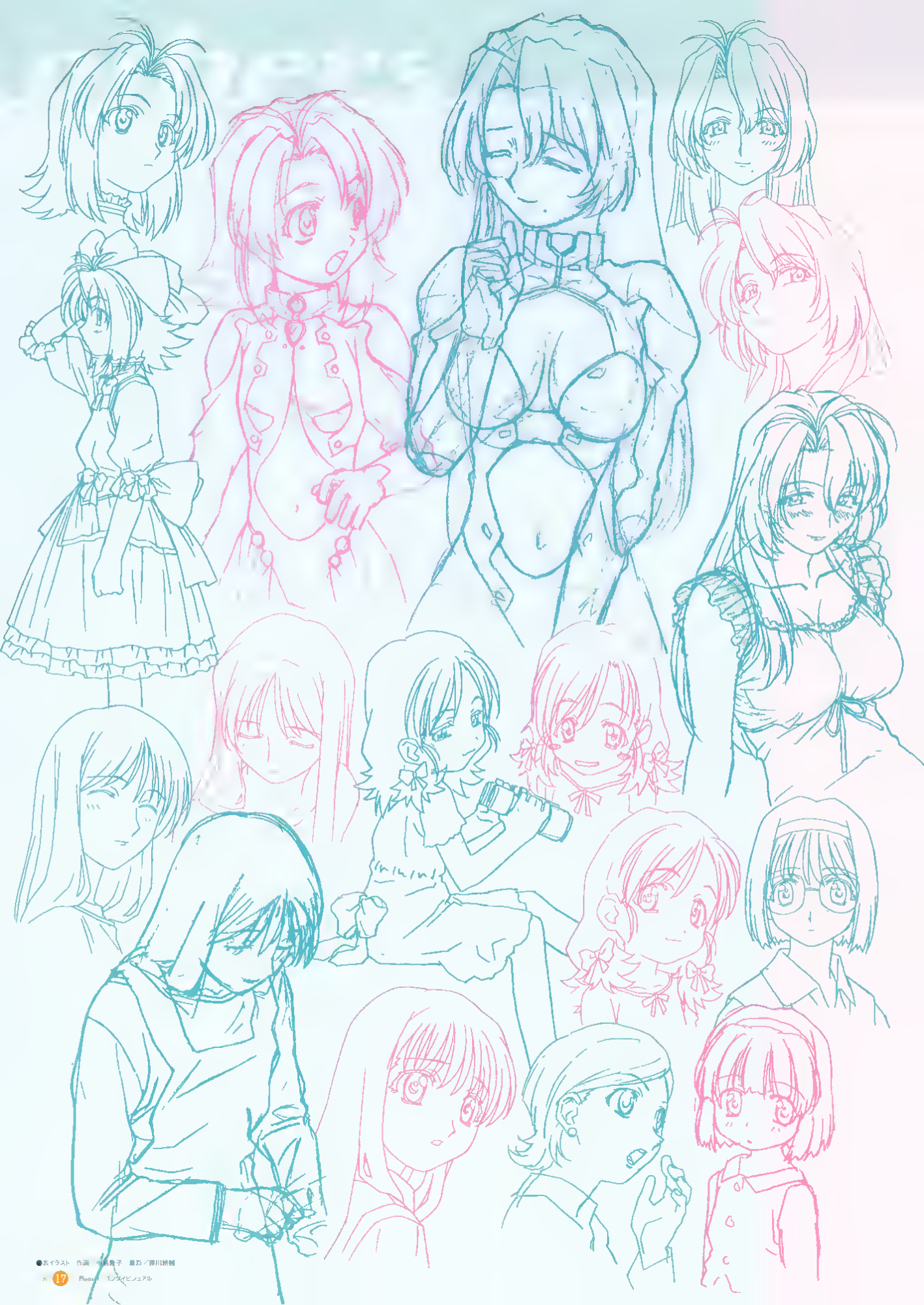
●表イラスト　作画／牧野竜一　着彩／北島展子

©Nasel　バンダイビジュアル

●スイッスト　作画／金野竜一　脚本／木柳一則



●表イラスト　作画／中嶋敦子　撮影／馬森尚徳



●表イラスト　作画　[illegible]　撮影／[illegible]

●作画／合同色彩　撮影／瀬川耕輔

『おねがい☆ティーチャー』オリジナルストーリー

風見みずほ編「あの日の君へ」

作●黒田洋介

先生、まほちゃんから聞いたんだけど」尋いた話しがひとつもなかったって本当？」

夫である桂にそう言われたみずほは、お喋りな妹に嘆息しつつ質問に答えた。

「そんなことないわよ。私だって、初恋ぐらいちゃんとしてます」

威張るほどのことではないが、みずほは胸を張った。

「へ、へぇ、そうなんだ　」

あら、動揺してる。

あからさまな態度をとる桂に、みずほはわざとらしく、もったいつけて言う。

「知りたい？」

「別に　いいですよ　」

「本当に？」

「ええ」

唇をとがらせる桂に苦笑しつつ、みずほは本当のことを口にした。

「うふふ、ごめんなさい。　実はね、初恋といっても人間じゃないの」

「それって、どういう　」

「厳密に言うとね、惑星監査の模擬練習用に構築された仮想空間で出会った人　つまり、データ上の作り物だったの　」

銀河連盟惑星監査員第二種免許を取得中の風見みずほは、文明レベルHマイナス2タイプの惑星を模倣した仮想空間にダイブしたことがあった。身分を隠し、未発達の文明社会にとけ込むための模擬訓練である。

比較的人口の少ない場所を特定し、必要最低限の個人情報を修正した後、みずほは仮想空間の大地に降り立った。

そして　目を奪われる。

その空間は　亡き父から教えてもらっていた地球の景色と酷似していたのだ。

緑があり、湖がある。木漏れ日から身体に降り注ぐ日差しは　言いようのない懐かしさをみずほに感じさせた。ほかの仮想空間にも何度か出入りしたが、これほどリアルなプラグインにはお目にかかったことがない。

樹の幹に触れる。温もりがわかる。

「　すごい

心の中で感嘆しながら、みずほは仮想空間の景色を堪能した。これが模擬訓練であることをしばし忘れてしまうほどに。

「散歩ですか、先生　」

声をかけられたみずほは、小さな悲鳴を飲み込んで振り返る。

そこには　黒い制服を着たひとりの少年が立っていた。

背の低い少年であった。みずほと比べて頭ひとつ分低いということは、多分　一五〇センチないかもしれない。

細身で色白で唇が赤い。細く整えられた髪は、少年の繊細さを際だたせている。

見つめるばかりで反応しないみずほに、少年は小首を傾げた。

その様子を見てみずほは今が訓練中であること、そしてこの仮想空間で自分を教師の立場に設定したことを思い出す。

みずほは取り繕うように、ぎこちない笑みを浮かべて少年に言った。

「ごめんなさい　少しボーッとしてて」

「いえ、構いませんけど　」

少年は森の向こうにある湖を見て　みずほに訪ねる。

「この場所、好きなんですか？」

「そうね　好きかも。初めてのような、何度も来ているような　よくわからないけど、そういう気分になるの」

半分本音の答えだ。言いようのない懐かしさがみずほの心を支配していた。

しばし黙って湖を見ていた少年が、ポツリと口を開く。

「ああ、それは、多分、予兆ですよ」

「予兆？」

「僕　運命って波打つ波長のようなものだと思ってるんです。波長の高い場所にくると　その先にある波長が見えることがある。それが　予兆です。虫の知らせとか、よく言うじゃないですか。アレのことですよ」

少年の口調に淀みがない。だが、その意見は素直に受け入れるほど、みずほは子供ではなかった。

「　いい　予兆というのは　未来における不確定要素の予測がたまたま結果と符号しただけの事象に過ぎないわ　」

「　哀しい考え方ですね　」

少年が言った。

「もっと、見たものを素直に感じればいいのに。ひとりで景色を見てたときのように」

「私のこと、見てたの？」

「ええ」

この地に降り立った瞬間　みずほは多分、少女のように目を輝かせていたのだろう。無防備な姿を見られたことに羞恥したみずほは、その頬を薄紅色に染めた。

「僕にはわかるんです。先生に、このくらいヒノクリするほどすごいことが起こるって」

唐突に　少年がみずほを抱きしめる。

背の低い少年の頭が、みずほの胸に吸い込まれるように収まる。

みずほはなにもできなかった。

驚いていた。

抱きしめられたことではなく、その行為に嫌悪を感じていない自分に。

身体を離した少年が、みずほに言った。

「先生の運命は、大きく変わりますよ」

少年の身体が光の中に溶けていく。

これは、空間転移？

違う。この文明レベルにそんなものが存在するはずない。だったら、なぜ？

光に包まれながら穏やかな表情で少年は言った。

「僕の予感は当たるんです」

「　あっ」

少年の名前を言おうとしたが、まったく思い出せない。模擬訓練前に　仮想空間に設定される人物データはすべて把握したはずなのに。

このコは誰？　誰なの？

その疑問を答えないまま少年の姿は消え、そしてみずほの意識も途切れた。

後日、みずほは、ダイブ担当の女性職員から事情を聞いた。

みずほがダイブした仮想空間のプラグインには、一万分の一の確立でバグが発生するというのだ。

名もなき少年が突如として現れ語りかけてくる。関係者の間で「予言者」と囁かれていた存在であった。

「でも、そんな不完全なプラグインを使用してるなんて　」

みずほの問いに女性職員が頷く。

「そうね。でも、仮想空間は特殊で、ある人物の記憶を抽出して作られたものなの」

そこでみずほは気づく。

あの風景、現れた少年。

初めてなのに懐かしいあの感じ。

「もしかして、それは　」

「そう、プラグインの提供者は風見志郎。あなたのお父様の記憶よ　」

「きっと」あの少年は若いときのお父さんだったと思う。だから、私の初恋はお父さんなの。厳密には、初恋と呼べないかもしれないけど　」

みずほの話を聞いていた桂は、自嘲気味に口を開く。

「先生のお父さんが言う通り、運命　変わっちゃいましたね」

「そうね。でも、すっごく良い方向に変わったのよ。　わかるでしょう？」

みずほは桂の頬に軽くキスをする。

そして笑った。

お父さん、ありがとう。

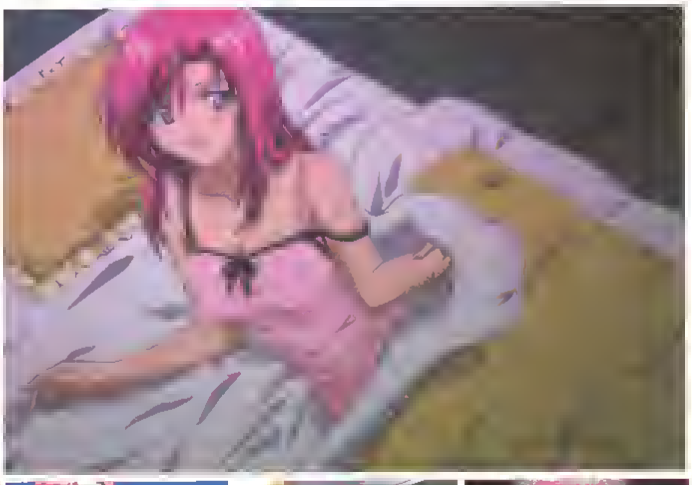
私、幸せです。

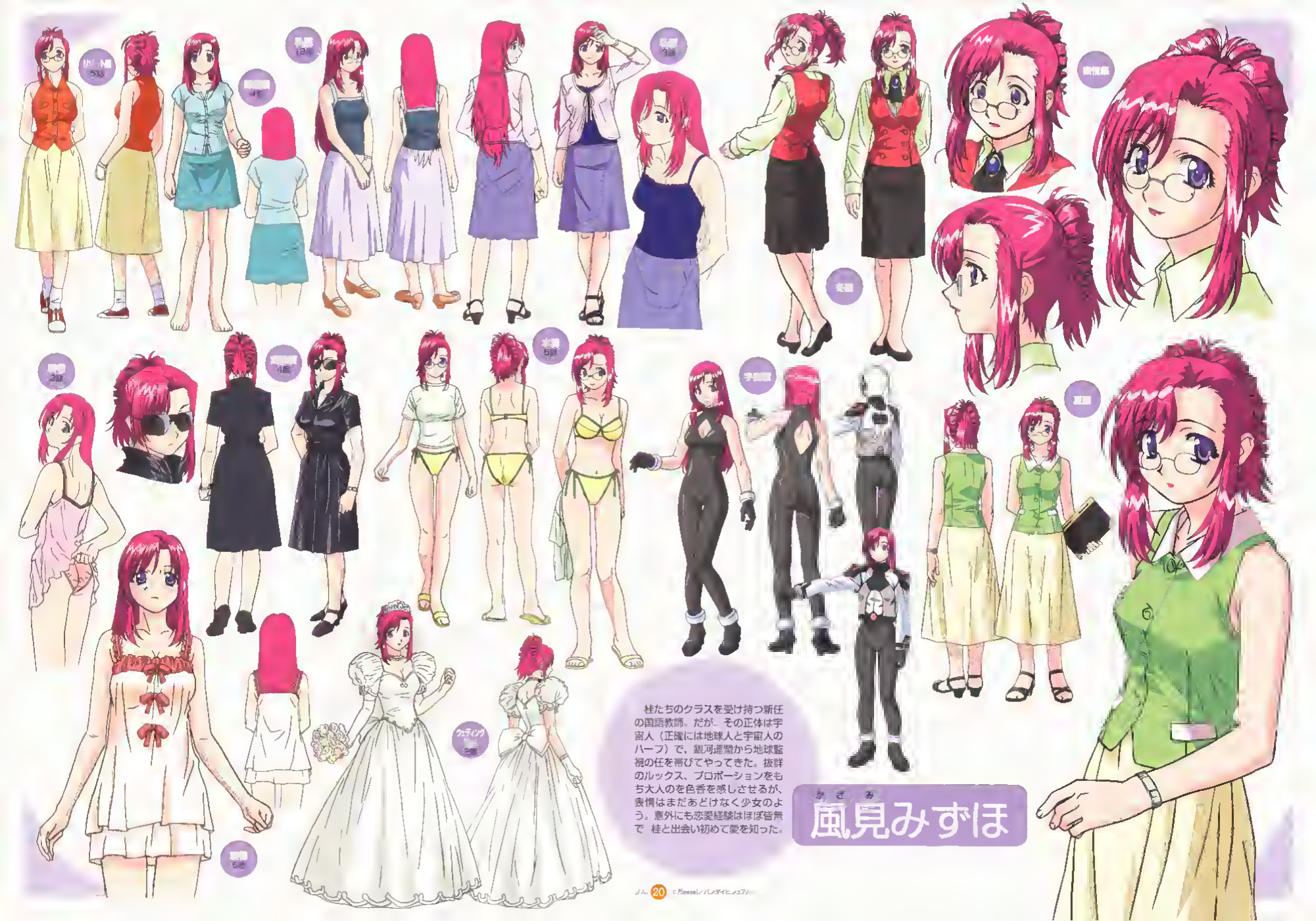
（おわり）

●表イラスト／作画／金田浩章

M i z u h o K a z a m i

これでもかっていうくらい、愛しちゃってください





桂たちのクラスを受け持つ新任の国語教師。だが、その正体は宇宙人（正確には地球人と宇宙人のハーフ）で、銀河連邦から地球監視の任を帯びてやってきた。抜群のルックス、プロポーションをもち大人のを色香を感じさせるが、表情はまだあどけなく少女のよう。意外にも恋愛経験はほぼ皆無で 桂と出会い初めて愛を知った。

風見みずほ（かざみ）

©Pioneer/バンダイビジュアル

Kei Kusanagi
僕は、ここで。この星の下で。あなたと、2人で…

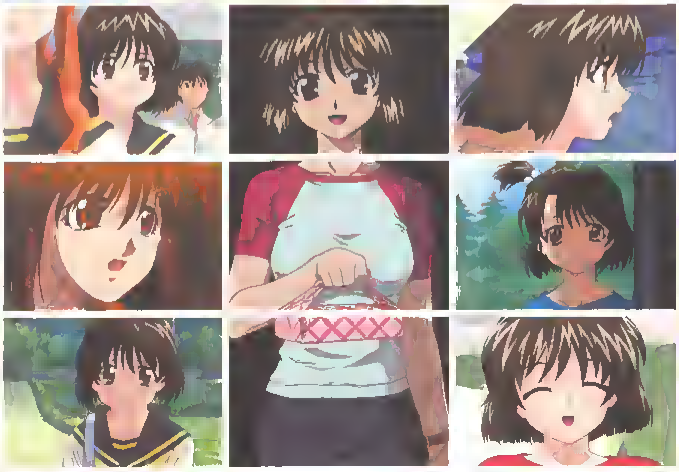
さなぎ　けい

早苗 佳

自ら“停滞”と呼ぶ心の病にかかり、3年間眠っていた少年。居候先の叔父夫婦以外には病と本当の年齢（18歳）を隠しており、常に他人と距離を置いて接していたが、みずほ先生との出会いにより少しずつ変わっていく。気弱で優柔不断だが、やる時はやるタイプ。人よりちょっとエッチ　かも（みずほ先生談）！

KoishiHerikawa

毎日、ドキドキしてる……でも、もっとドキドキしたい…



緑川小石（へりかわ いし）

明るく気さくな性格で、男子とも普通に接することができる剌と今時の女の子。高校生にしてはかなりスタイルが良く、それを意識してか体の線が強調される服を着ることが多い。恋愛、及びそれに付随する行為に強い憧れを抱いていて、柱という気になる男の子ができてからは、寡る想いに身を委ね積極的にアプローチしていった。

©Pioneer/バンダイビジュアル

Kaede Misumi

好きでいても、いいよね？　好きでいさせて、ください……

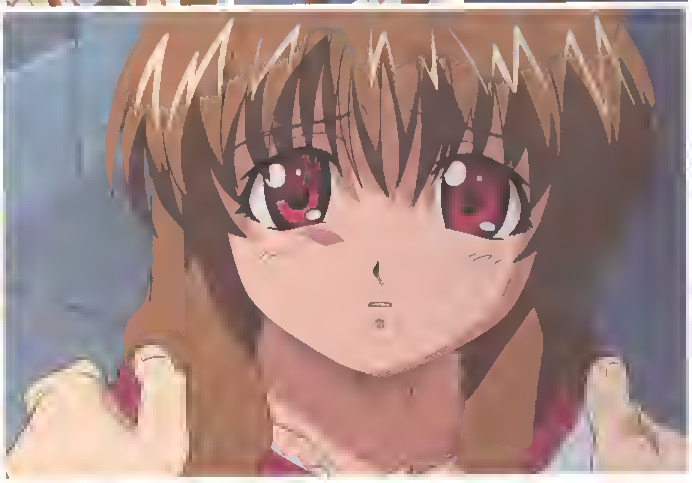
水澄 風

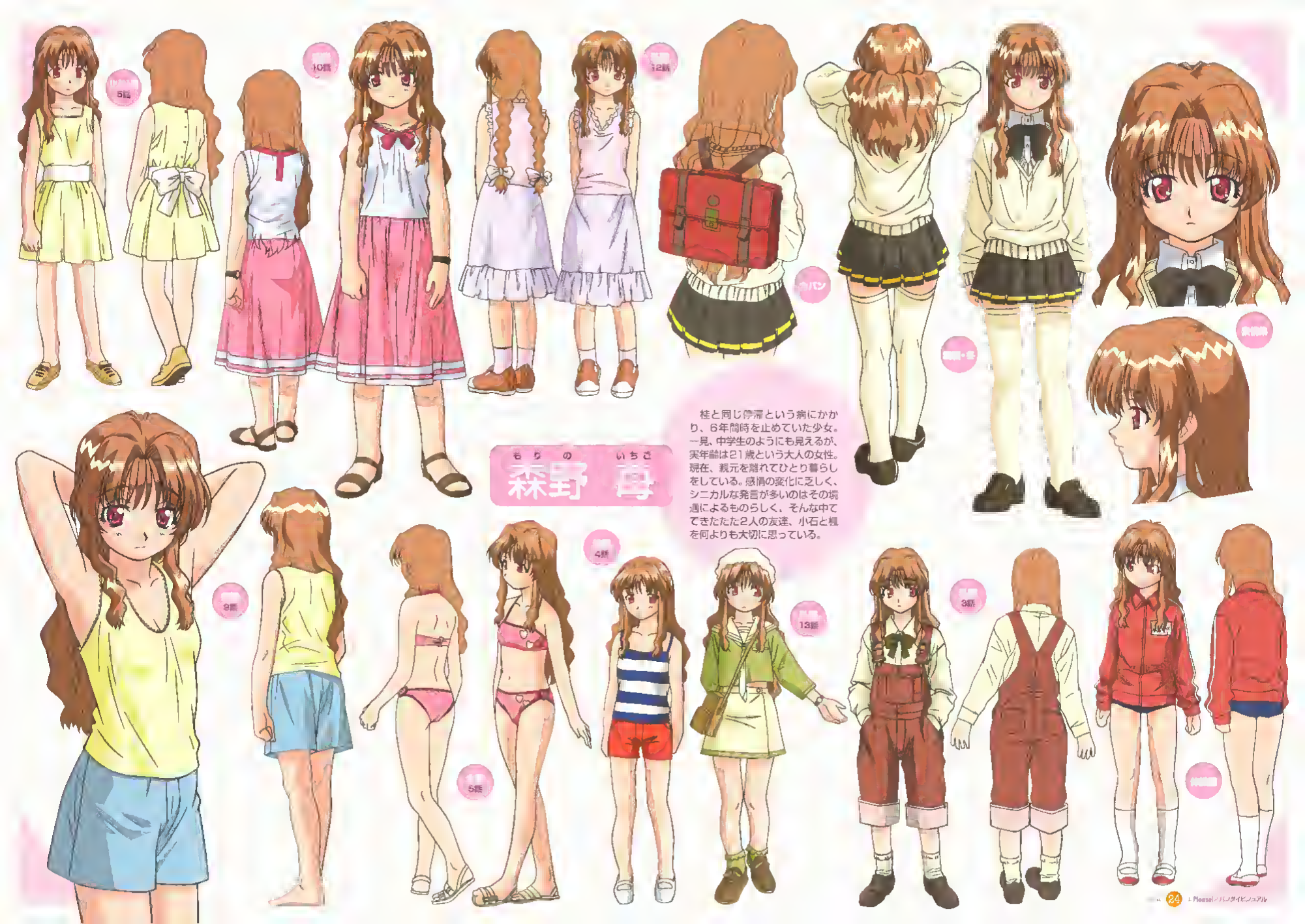
みすみ かえで

結構いいところのお嬢様だが、それを鼻に掛けない気たての優しい女の子。性格はかなり奥手で気が弱く、親友の小石たちにも常に遠慮がちに話しかける。アイルラント人である祖母譲りの赤毛をいたく気に入っているが、高い上背にはコンプレックスを抱いており、その反動もあってか大変な少女趣味。私服のほとんどがフリフリてある。

Ichigo Morino

あなたともっと早く会っていれば、私……



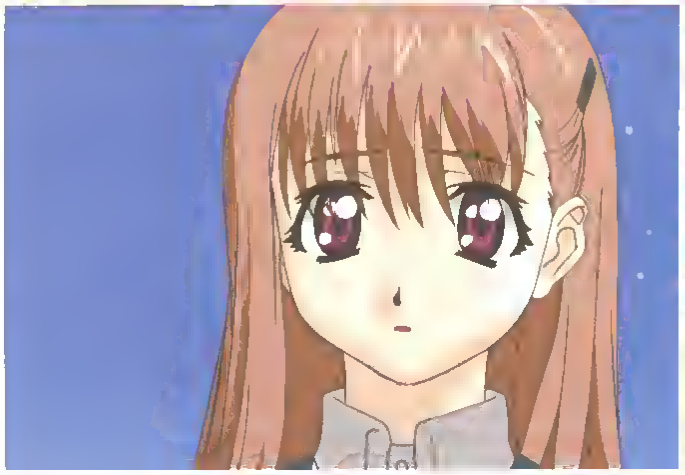


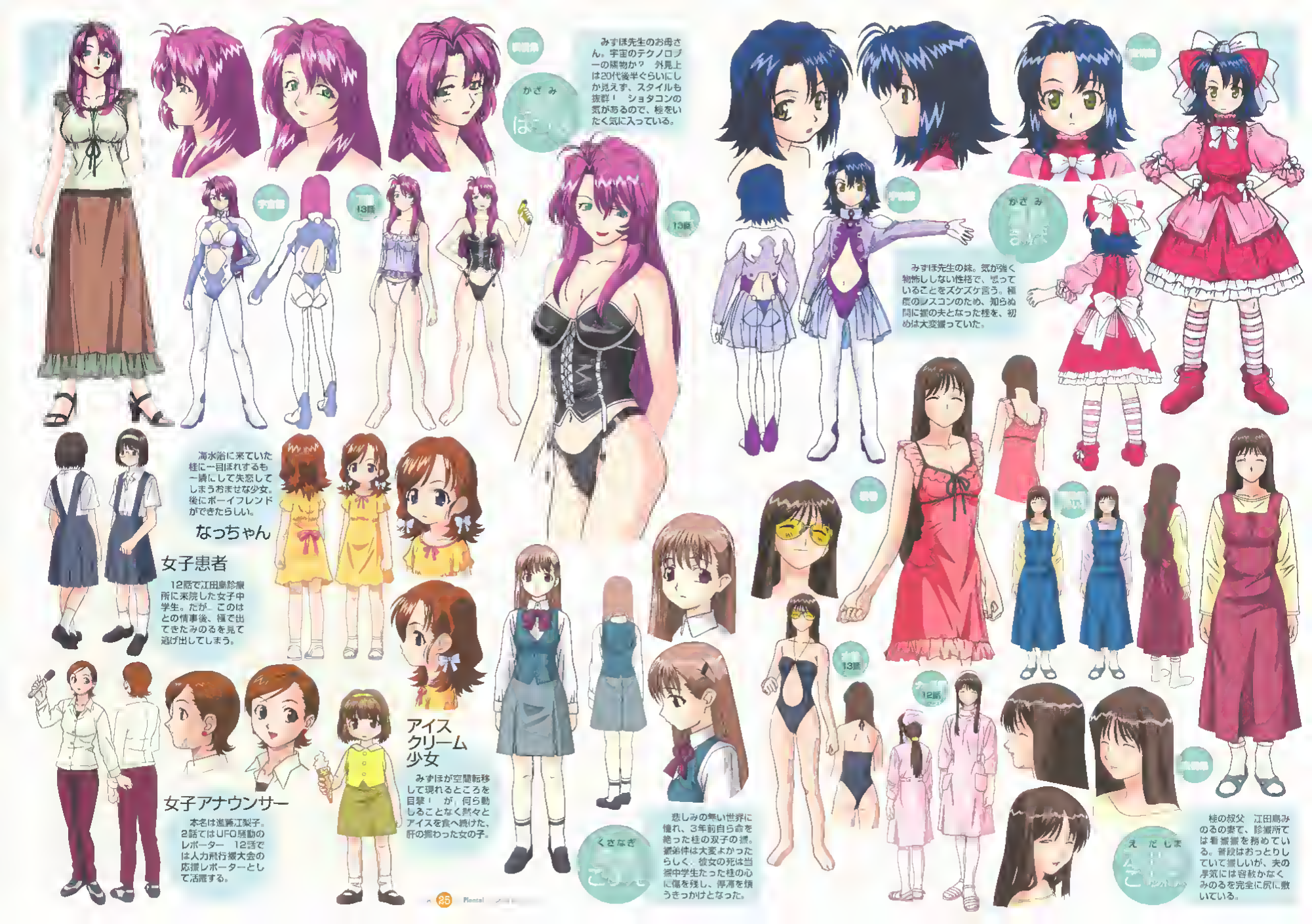
森野 苺（もりの いちご）

桂と同じ停滞という病にかかり、6年間時を止めていた少女。一見、中学生のようにも見えるが、実年齢は21歳という大人の女性。現在、親元を離れてひとり暮らしをしている。感情の変化に乏しく、シニカルな発言が多いのはその境遇によるものらしく、そんな中ててきたたた2人の友達、小石と楓を何よりも大切に思っている。

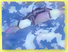
Other Characters

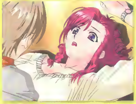
あたしのお姉ちゃんをなんだと思ってるのー?



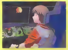
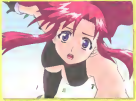

かざみ
みすほ先生のお母さん。宇宙のテクノロジーの賜物か？　外見上は20代後半ぐらいにしか見えず、スタイルも抜群！　ショタコンの気があるので、桂をいたく気に入っている。
かざみ
みすほ先生の妹。気が強く物怖じしない性格で、思っていることをズケズケ言う。極度のシスコンのため、知らぬ間に姉の夫となった桂を、初めは大変嫌っていた。
海水浴に来ていた桂に一目ほれするも一晩にして失恋してしまうおませな少女。後にボーイフレンドができたらしい。
なっちゃん
女子患者
12話で江田島診療所に来院した女子中学生。だが、このはとの情事後、極で出てきたみのるを見て逃げ出してしまう。
女子アナウンサー
本名は進藤江梨子。2話ではUFO騒動のレポーター　12話では人力飛行機大会の応援レポーターとして活躍する。
アイスクリーム少女
みすほが空間転移して現れるところを目撃！　が、何ら動じることなく黙々とアイスを食べ続けた、肝の据わった女の子。
くさなぎ
悲しみの無い世界に憧れ、3年前自ら命を絶った桂の双子の姉。姉弟仲は大変よかったらしく、彼女の死は当時中学生だった桂の心に傷を残し、厚薄を損うきっかけとなった。
えだじま
桂の叔父　江田島みのるの妻で、診療所では看護婦を務めている。普段はおっとりしていて優しいが、夫の浮気には容赦かなくみのるを完全に尻に敷いている。

1st 「教えてティーチャー」

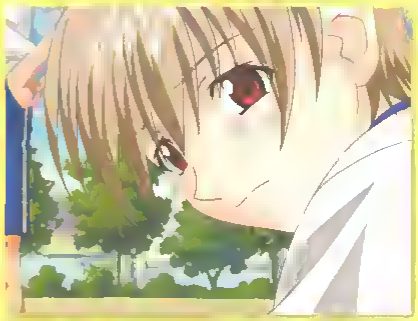


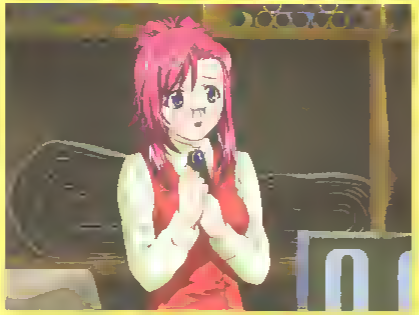


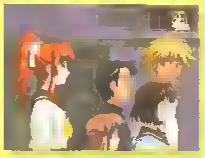
停滞という病によって、3年の歳月、時を止めていた少年、草薙桂。彼のクラスに、ある日、新任の女教師がやってきた。その人の名は風見みずほ。若くグラマーな美人教師の出現に沸きかえるクラスだったが、ひとり桂だけは、みんなとは別の感想を抱いていた。昨夜、彼が目撃した未確認飛行物体、その側に突如現れた謎の女性。みずほ先生は、その女性にそっくりだったのだ。2人の出会いは運命だったのか。みずほ先生は、偶然にも桂の家の隣に越してくる。そして桂は、ふとしたことから知ってしまう。やはり昨夜の女性は、みずほ先生だったということを。みずほ先生は、[illegible]するということを。

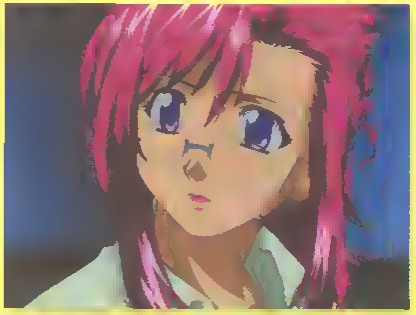



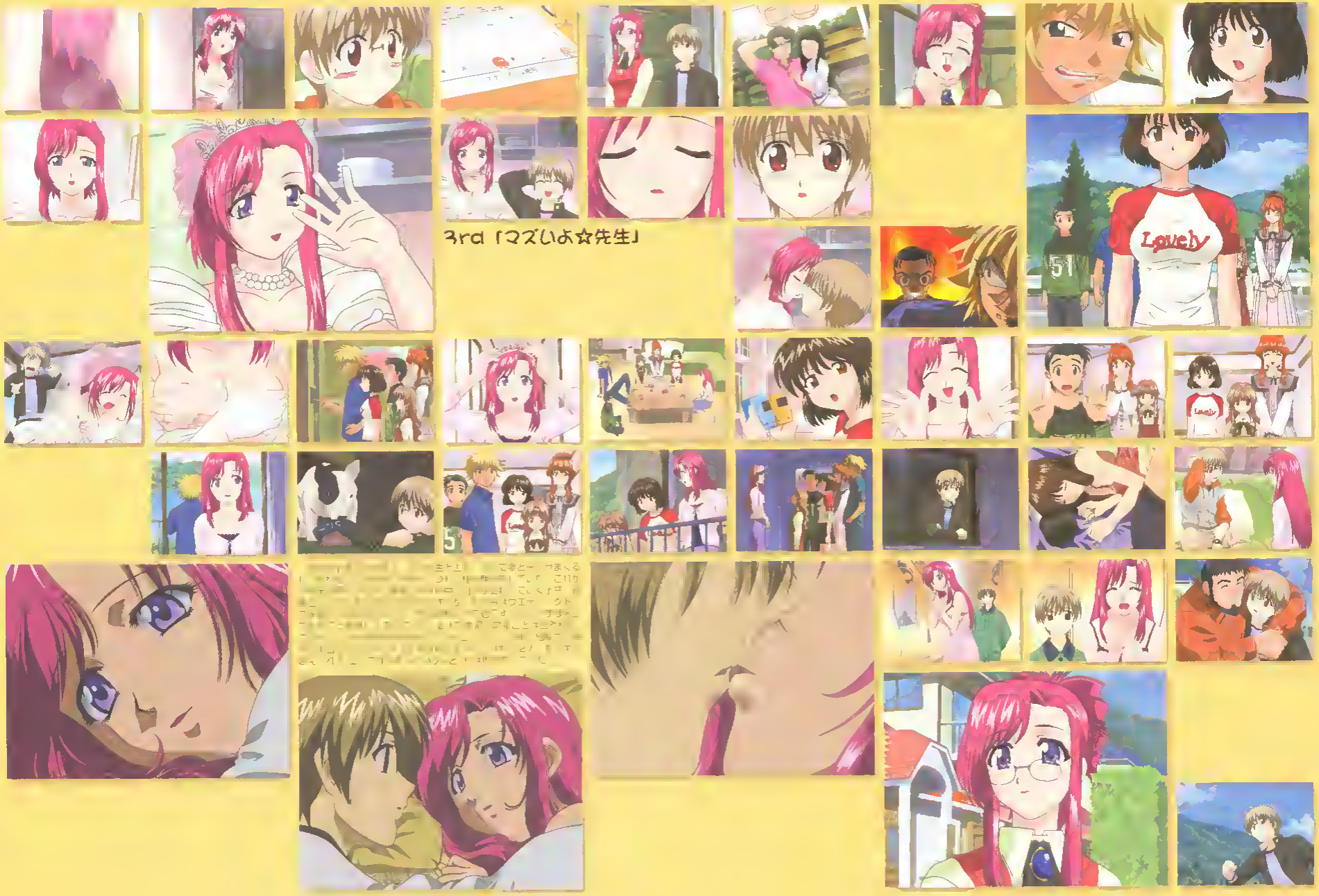
2nd
「もう、お婿にいけません」

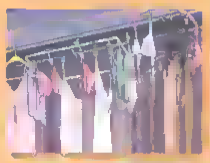




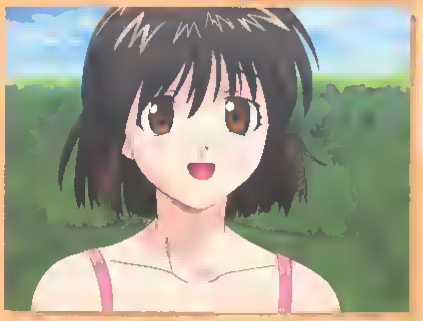


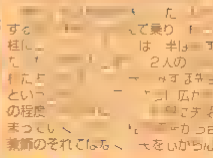
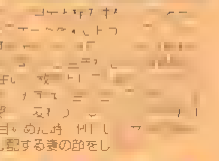


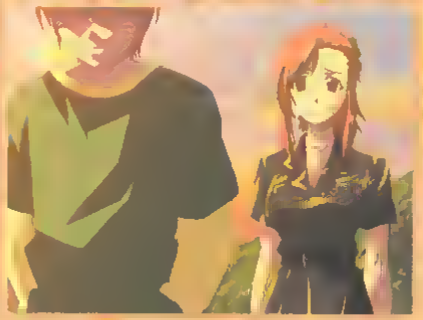
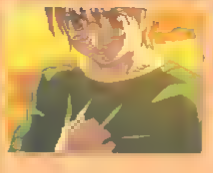

3rd「マズいよ☆先生」
Lovely



4th「やっぱり好きかも」



5th「そんな先生に、ぼくは」

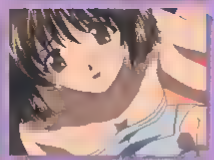
新婚旅行をかね[illegible]なり結婚と[illegible]た2人は、まるで恋をして[illegible]いを育んでいく[illegible]小石たちと鉢合わせしてしまう[illegible]することにな[illegible]ブコーチ[illegible]新婚旅行では[illegible]また少し近い[illegible]

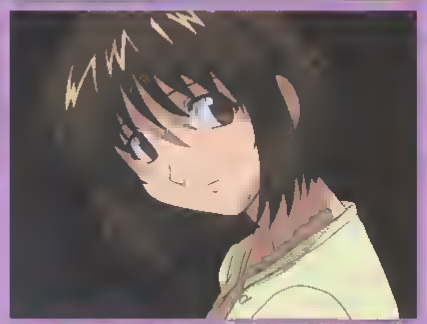
6th「始まってから始めよう」

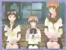
7th
「泣かないで
先生」

姉の幸[illegible]を[illegible]う？　とにかく異常なまでに[illegible]を嫌う森野[illegible]ついに[illegible]子[illegible]「お姉ちゃんを泣かせた罪!」すべてはま[illegible]の勘違い[illegible]空間へ強制連行され、宇宙兵器の攻撃を受けることに[illegible]ちゃん[illegible]を傷つけたのは「あんたなんかと一緒にいたら お姉ちゃん[illegible]不幸になるわ」というまほの言葉だった。その言葉は[illegible]刃とな[illegible]それから切り離す[illegible]を発し[illegible]こむ[illegible]。その時[illegible]は先生が[illegible]を現した[illegible]しく[illegible]の体を抱き[illegible]語りかけ[illegible]先生[illegible]その想いは眠る[illegible]のもとへと届く[illegible]そして[illegible]まりも[illegible]させるのだった!

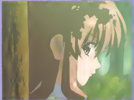
8th
「長い夜」



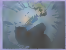




9th「もう、おわりにしよう」



[illegible]しみの上に[illegible]み成り立[illegible]初めて[illegible]重ね、浮かれながら学[illegible]ぜ[illegible]瞬間、激しい自己嫌悪に[illegible]すべてを[illegible]のだ みずほ先生と遊んで[illegible]だから[illegible]かった [illegible]の病のことを知る[illegible]は[illegible]を[illegible]て[illegible]た[illegible]そ[illegible]て彼女は[illegible]ふく[illegible]になることから[illegible]て[illegible]想像で[illegible]っ[illegible]もつ[illegible]彼女を[illegible]めさせない[illegible]た[illegible]には[illegible]ずほ先生に[illegible]れ[illegible]ひと[illegible]



10th「でも」

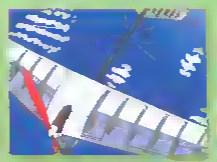
[illegible]れる。みずほ先生は その提案を受け入れた理由を[illegible]と言った たが 桂と小石かキスしようとする瞬間[illegible]あるてたのは 思わずその場から逃げ出したのよ 小石とと[illegible]そんなみずほ先生を目にした時 桂の頭には[illegible]の考えは浮かばなかった 空間を越えて追っ[illegible]そこでついに桂はみずほ先生をつかまえる。見つ[illegible]お互いを求め合う2人 たけど、一[illegible]もわんばかりの葛藤の中 桂はそこから逃げろよ[illegible]深い深い眠りへと

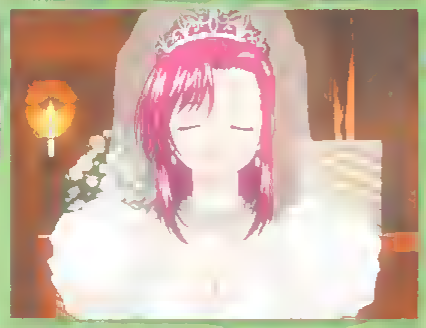
©Please! パンタイレン・アル

11th 「せんせい」

「矛盾に満ちた生存なんか、いらない。喜びを感じながら私は停まる」そう言って、こずえが桂の前から姿を消したのは、3年前のことだった。そして今、桂は夢の中で、再びこずえと出会う。3年前と同じ場所、同じ姿で自分と共に旅立つよう、存在を停めるよう誘うこずえ。その時、桂の前にひとりの女性が現れる。赤い髪にメガネを掛けたその人は、桂に優しく語りかける。私は、未来のあなたの妻だと。あなたに会えて幸せだと。桂は確かにその女性を知っていた。そして彼女と、ある約束をした。だが、桂が夢から目覚めたとき、すべての記憶は闇に葬られ、この地球上から彼女の存在は消えていた。

12th
「もう一度
ティーチャー」

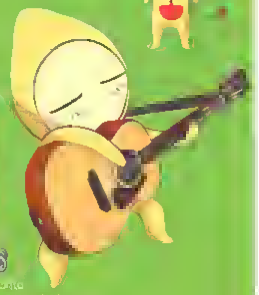




おねがい☆
ティーチャー
Please!

Opening& Ending

これまでにあまたのラブソングを
世に送り出してきた、
折戸伸治&Ive！
彼らは音楽で、作品の世界を物語る
みずほ先生と桂を歌ったかのような
せつない愛の調べを感じてほしい



オー
「Sh[illegible]」
作詞●KOTO[illegible]●Sh[illegible]
編曲●Kazuy[illegible]Takase　歌●KOTOKO

遠くに光るあの星　二人見上げて
君に出会った運命を思う
何気ないふりで　手の平　触れてみる
君は嬉しく微笑むだけで

気持ちが強くなると　不安の数も増え
一度抱きしめた心は　どんな時も離さない

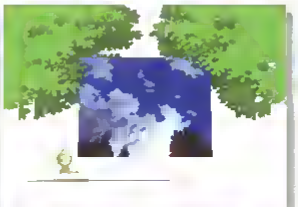
広い宇宙にひとりだけの
[illegible]が[illegible]にいてくれるなら
[illegible]れた時の針も　やがて
ゆっくり動き出す　未来へ
君はそのままでいて

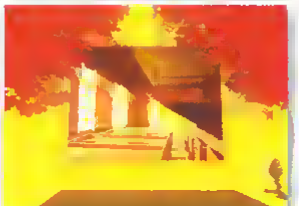
汚れる星に願いをそっとつぶやく
「君と一緒にいられま[illegible]ように
この時間だけを　ガラスの[illegible]に閉じ[illegible]
ず　と眺めていれたらいいの!」

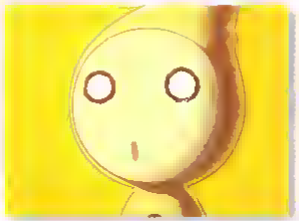
愛しい君の笑顔　[illegible]
泣き出したくなる時には[illegible]

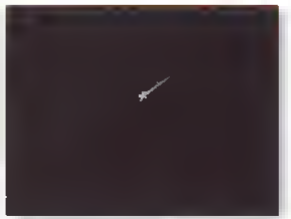
[illegible]い宇宙に　たっ
幸せの場所を見つ[illegible]
ここに あるのは　[illegible]
二人を包む夜の闇と
君への思いだけ

遠い国から辿り着い[illegible]
[illegible]　あの光る[illegible]
絶えまなく　そう[illegible]
未来も君も抱きし[illegible]
この夜空に 誓う









空の森で

作詞●M[illegible] Tak[illegible]
編曲●Kazuy[illegible] Takase　歌●[illegible]

時間が止まる　光と空の森
風が[illegible]ぶ　かすかなせせらぎ

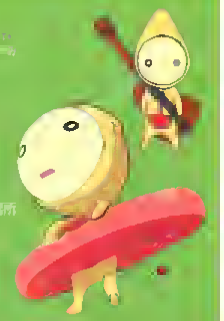
ほ[illegible]　まぶしく光る湖は
あの日になくしたものを
映し出す鏡に

ずっと探してた　想いに出逢う場所
[illegible]の向こう側に今　揺れるの
き[illegible]　幸せは　寂しみ！似[illegible]
心の[illegible]閉して　そっと空[illegible]

誰もいない　光[illegible]
[illegible]のKissに　ふるえる[illegible]

ほら　まぶしく[illegible]
光と影を編みこむ
レース[illegible]みたい!

ず　と泣いていた　[illegible]
[illegible]の樹々の中に今[illegible]
きっとサヨナラは[illegible]
心の鏡を開けて　そ[illegible]



作詞●ラノ[illegible]
[illegible]●12[illegible]

JASRAC　出0207683 201

●スタッフ
監督／井出安軌
脚本／黒田洋介
キャラクター原案／羽音たらく
キャラクター原案協力／古美明
キャラクターデザイン／合田浩章
メカニックデザイン／森木靖泰、渡辺義弘
美術基本設定／須江信人（くさなぎ）
美術監督／堀壮太郎（くさなぎ）
色彩設計／渋谷圭子
デジタルオーサリング／田中恒嗣
音響監督／菊田浩巳
音響制作／楽音舎
音楽／I've 折戸伸治（ビジュアルアーツ）
音楽プロデューサー／伊藤善之（ランティス）
アニメーション制作／童夢
プロデュース協力／GENCO
製作／バンダイビジュアル
企画・原作／Please！

●キャスト
風見みずほ／井上喜久子
草薙桂／保志総一朗
緑川小石／川澄綾子
水澄楓／大原さやか
森野苺／田村ゆかり
間雲標介／岩田光央
四道跨／三浦祥朗
まりえ／金田朋子
江田島みのる／内田直哉
江田島このは／佐久間レイ
風見はつほ／高田由美
風見まほ／こおろぎさとみ
山田正臣／杉田智和
天堂校長／仲野裕
草薙こずえ／南央美
なっちゃん／西村ちなみ

メガミマガジンスペシャルセレクション
おねがい☆ティーチャー
ビジュアルコレクション

2002年8月8日　第1刷発行
2002年8月31日　第2刷発行

書編集人／書田信雄
書発行人／[illegible]
書発行所／株式会社学習研究社
〒145-8502
東京都大田区上池台4-40-5
書印刷所／凸版印刷株式会社

© Please！／バンダイビジュアル

●編集長／成田書志
書編集／渡邊晋一
書デザイン　DTP／
斎藤貴史（志書デザイン事務所）山川夏実
書協力／
株式会社書書
有限会社スタジオオルフェ
有限会社草書
ハンタイビジュアル株式会社
株式会社ランティス
I've
折戸伸治
株式会社メディアワークス
株式会社徳間書店
株式会社ムービック
株式会社ブロッコリー
株式会社キャラクター・アント　アニメ・トットコム
株式会社講談
株式会社ユーシン
有限会社エスウット
株式会社シェンコ
（順不同）
●書紙作画／羽音たらく
CGペインティング／萩谷書也

無断複写複製（コピー）を禁ず
この本に関する各種お問い合わせは、次のところにご連絡ください
○編集内容については　電話03（5496）5041（編集書）
○在書・不書品（落丁　乱丁等）については　電話03（3726）8168（出版営業書）
○それ以外のお問い合わせは　学研お客様センター「おねがい☆ティーチャー　ビジュアルコレクション」係へ
文書は〒146-8502　東京都大田区仲池上1-17-15
電話は　03（3726）8124

ISBN4-05-401730-4

井出安軌●監督

羽音たらく●キャラクター原案

合田浩章●キャラクターデザイン

Please! Teacher VISUAL COLLECTION

Gakken